

ゆめみにゅーす



Green For All
KAWASAKI
2024



YUMEMI ZOO



季刊 VOL. 75
発行日 令和7年2月4日
発行責任者 夢見ヶ崎動物公園
問い合わせ 044-588-4030
飼育展示数 哺乳類:20種117点
鳥類:21種66点
爬虫類:10種97点
(令和7年1月末日現在)

最近の動物公園

2025年が明け、昼間は暖かくとも朝晩はしっかり冷え込む日が多くなっています。鳥インフルエンザ対策に加えて防寒対策でちょっと獣舎が見にくくなっていたり、高齢の動物の一部は部屋を移動したりバックヤードに避難したりしています。暖くなるまでしばしぬくぬくと過ごしてもらいます。



第21回 春の動物園まつりのお知らせ

春の動物園まつり開催のお知らせです。

★日時 令和7年3月23日(日曜日) 午前10時～午後3時

★内容 キーパースガイド、バックヤードツアー(抽選制)、マール餌やり体験(先着順)、動物クイズラリー、動物公園サポーター活動紹介コーナー、野生動物救護活動紹介コーナー、竹細工体験コーナー、グッズ販売・飲食コーナー等

★荒天中止。その他天気・動物の体調等によりイベント内容が変更になることがあります。

★当日は駐車場の利用ができません。公共交通機関でのご来園をお願いします。



*公式 Twitter(X)始めました。

*公式 Facebook はこちらから。→



★園内工事についてお知らせ

駐輪場・ベビーカー置き場が新設されました。また、4か所に分散した臨時駐輪スペース（ホームページ、X、園内に掲示の地図参照）もご利用いただけます。トイレはパークセンター内・小動物コーナー・慰霊塔前広場（一部改修中）にてご利用いただけます。ご協力よろしくお願いします。

★ピックアップ動物★

ニホンアナグマ 哺乳綱 ネコ目 イタチ科

当園のきょうこときなこは福山市で保護された人工哺育の姉妹です。日本（本州以南）の里山に分布する日本固有種で、小動物や植物、果実などを食べる雑食性です。長い鉤爪をもち巨大な巣穴を掘り、その一部をタヌキなどが使用することも知られています。気温が低くなると冬眠することもあります。きょうこ・きなこ共、この時期はたくさん敷かれた落ち葉や箱の中で暖を取っていることもありますが、今年は例年の冬より良く動き回っています。

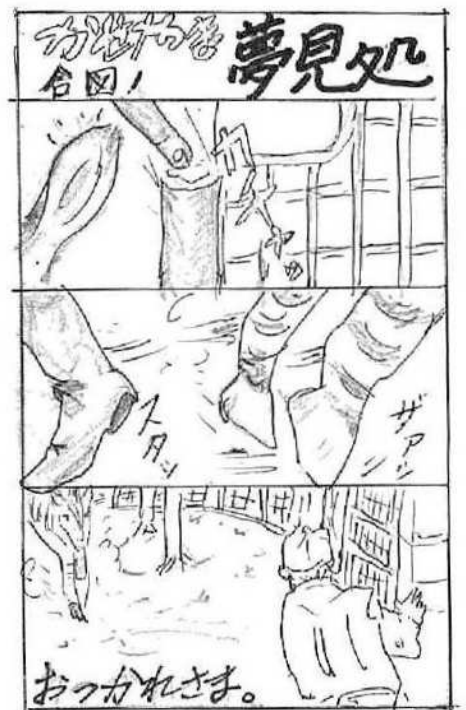
水は全く怖くないようで、顔や体が濡れるのはまったく気にせず、清掃中のホースにもぐいぐい迫ってきます。きょうこはエサのペレットをわざわざ水入れに落とし、ふやかしてから食べるのが好きなのですが、これは誰が教えたわけでもありません。



獣医の日記

昨年11月末頃から、時々レッサーパンダのケイコが朝からエサを食べずに巣箱にこもることが出てきました。丸1日くらい経過するといつものコロコロした糞ではなく大量の粘液を排泄し、スッキリして急にいつも通り元気食欲が回復します。これで終わりならよかったのですが、その後も数日おきに症状を繰り返すようになってしまいました。この症状自体はパンダによくみられるもので、原因ははっきりとわかっていないものの竹の消化不良による腸炎ともいわれており、治療の必要はなく自然に治るものとして知られています。治療の必要がないといっても、おそらくは腹痛があると思われ、何とかしてやりたいなあという気持ちと、何もできないもどかしさがある中、試しに整腸剤を与え始めたところ、年が明けてからはだいぶ状態が落ち着いてきました。毎朝、元気な表情と動きをみるとほっとします。

実は以前夢見にいたケイコの双子の兄弟・ケンタが時々このような状態になっており、ケイコは3年前に一度なって以降久しぶりの再発、両親のアンとファファに至っては一度もありません。神経質な性格が影響しているのかは不明ですが、このまま落ち着いてくれることを願いつつまだまだ気は抜けません。



★動物たちの主な移動(令和6年11月1日～令和7年1月31日)★

マーコール(♀2死亡、♂1死亡)、テンジクネズミ(♀3死亡、♂2死亡)